

浄化槽検査員の精度管理について て (第2報)

財団法人 福岡県浄化槽協会

1 はじめに

- ① 他の指定検査機関の精度管理等に関する調査結果について
- ② 当協会の取り組みについて

2 他の指定検査機関の精度管理等に関する調査結果について

① 調査対象

(社)全国浄化槽団体連合会の正会員及び特別会員の指定検査機関のうち50機関

② 調査内容

- ・浄化槽検査員の精度管理の取り組み状況
- ・職員研修等の実施及びその内容
- ・組織規模(役員数、職員数)等について

3 調査内容と回答結果

34指定検査機関から回答を得た。(回収率68%)

項目	実施	未実施	実施率
浄化槽検査員の精度管理の取り組み状況	17機関	17機関	50%
職員研修の取り組み状況	26機関	8機関	76.4%

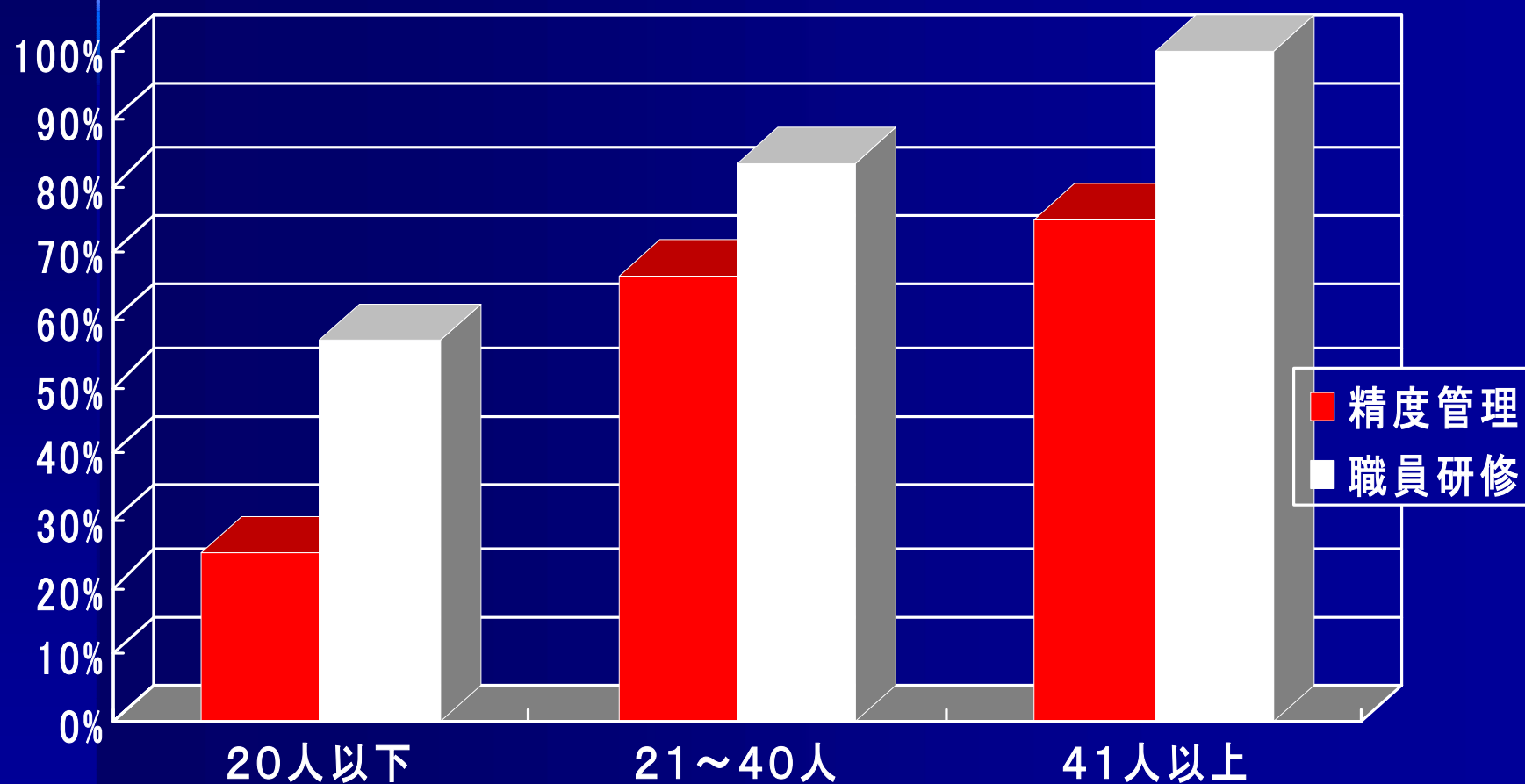
4 他の指定検査機関における 精度管理の項目

多

- 検査結果書の所見の確認・指導
- 各ブロックが開催する研修会への参加
- 新型浄化槽の調査研究及び技術研修
- 検査判定・手順マニュアルの作成
- 判定結果について グループ討議
- 同一浄化槽を複数の検査員で検査を行い その判定の確認 他

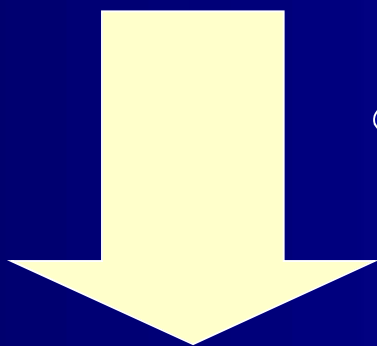
少

5 職員規模別の精度管理と職員研修の実施率



6 調査結果のまとめ

職員・事業規模が大きいほど
検査員間にバラツキが生じる



必然的に実施

精度管理や職員研修を実施！

7 当協会における精度管理の概要について

- ① 職場内研修(OJT)
(業務を通じて行う研修)
- ② 職場外研修(OFF-JT)
(日常業務を離れての研修)

職場内研修 (OJT)

- 適正な所見の表記
- 検査手順の統一
- 総合判定等の統一
- 検査機器の適正管理
- 内部精度管理
- テスト・事例研修

職場外研修 (OFF-JT)

- 他の指定検査機関への派遣研修
- 公的な研修施設への派遣研修
- 研修コンサルタント活用

8-1 職場内研修(内部精度管理) 【同一浄化槽の模擬検査】

ステップ1

複数の検査員による
同一浄化槽の検査

ステップ2

所見内容及び結果書の判定確認

判定までの考
え方を知る。

ステップ3

検査員間で協議(判定の統一化)

複数の検査員による同一浄化槽検査の様子



8-2 職場内研修(内部精度管理) 【透視度測定管理】

ステップ1

全検査員による同一試料測定
(定期的な実施)

ステップ2

測定結果分析

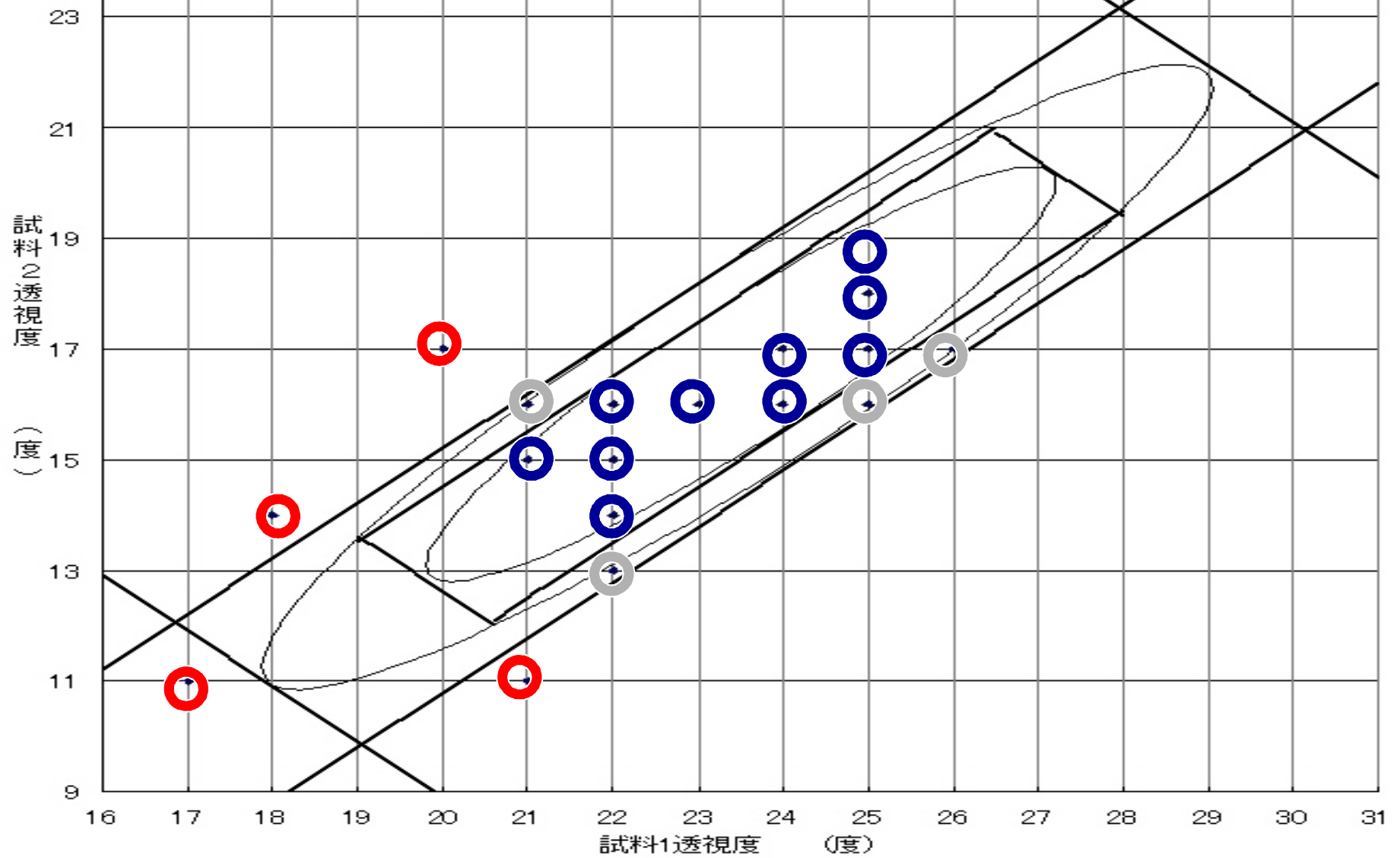
透視度は、測定者の視力、測定場所などの影響を受けやすく、誤差が生じやすい。

ステップ3

測定結果の統一化

透視度結果の複合評価図

複合評価図



事例研修の様子



9 職場外研修

【他の指定検査機関への派遣】

ステップ1

他の指定検査機関への派遣

ステップ2

検査体制・職員管理などを学ぶ

ステップ3

改善すべき課題の判明・検討

研修コンサルタントによるマナー研修の様子



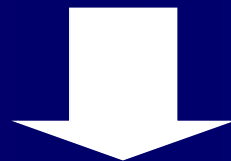
10 成果と課題

- 個々のモチベーションやモラルが高まってきた。
- 判定の統一化が進んだ。
- 検査機材の適正管理が定着した。
- 職場内のコミュニケーションが円滑になった。

職員間で精度管理に関する意識に、
まだまだ温度差がある。

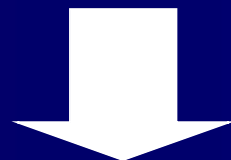
11 まとめ

検査結果書



発行までのプロセスの妥当性

指定検査機関の最終的な製品



精度管理の充実

指定検査機関の社会的信頼性の確保・責務の担保

12 精度管理の充実に向けて

- 1 独自の精度管理
+
- 2 指定検査機関相互の研修
(教育機関として十分活用可能)

精度管理の充実・効率化